

阿蘇の
風物詩

刈り干し切り

阿蘇では毎年秋になると、冬場に畜舎で牛馬を飼うために必要な干草（刈り干し）を確保するため、一斉に原野に出て採草を行います。これを「刈り干し切り」と呼び、スキの穂波がそよぐ9月中旬から始まり、11月まで続きます。刈り採った野草は1～2日天日乾燥させ、稲手（稲の茎）で束ねた後、集めて垂直に小高く積み上げた「草小積み」が作られます。



草小積みの最上部には、干し草を雨から守るためにスキが広げられた。



昭和30年代まで、北外輪山地域の端辺原野などで盛んに行われていた草泊まり

刈り干し切りの期間中、採草地の近くで野営すること、あるいはそのためにスキで作る小屋のことを「草泊まり」と言います。車でのごり来ができるようになる前、人々はふもとの農家から泊まりこみで原野にやって来て草を刈り、冬に備えていたのです。

冬枯れの草原に点々と残る草小積みは阿蘇の風物詩として親しまれてきましたが、刈り干しの需要が減った上、近年では乾草のロールとしてまとめ車で持ち帰るため、草小積みはほとんど作られなくなっています。

阿蘇草原再生シールを貼った野菜を買って

あなたも阿蘇草原再生に参加しませんか

今、阿蘇郡内の農産物直売所などでこのシールを貼った野菜が売られています（前ページ参照）。草原環境を守るため、野草を利用して昔ながらの方法で育てた野菜を増やしていくことを目指しています。「堆肥や土づくりに野草を使っているの、健康で害虫にも強く、野菜本来の味がします」と、生産者もおすすめ。ぜひこのシールのついた農産物をお買い求めください。それが阿蘇草原再生につながります。

また、当事業にご参加いただける生産者、直売店の方を募集しています。阿蘇の野草を堆肥として野菜や花きを育て直売所に卸している方、それを扱っている直売店の方は、ぜひ下記までご連絡ください。参加方法をご説明いたします。

●連絡先

メッツ研究所／担当：石原・角田
TEL：03-3371-6310

このシールです！



現在、以下の農産物直売所で草原再生シールを貼った農産品が買えます

- あぜり庵…………… Tel：0967-22-5512 住所：一の宮町宮地5816
- 四季彩…………… Tel：0967-35-4155 住所：一の宮町宮地617
- はな阿蘇美…………… Tel：0967-23-6262 住所：阿蘇町小里781
- もっこす市場 なのはな館… Tel：0967-35-5222 住所：阿蘇町蔵原1082

※お店と生産者のプロフィールを「阿蘇草原再生ホームページ」で紹介しています。

阿蘇と阿蘇草原再生の情報はこちらで

- ・このサイトでは、草原再生の考え方や草原の現状、イベントなどの関連情報、関係者インタビューなどを紹介しています。
- ・このサイトをご覧いただき、阿蘇の草原ファンになっていただければ幸いです。

ご意見やご質問も
どしどしお寄せ下さい。

阿蘇草原再生
ホームページ

<http://www.aso-sougen.com/>

ニュースレターに関する お問い合わせはこちらへ

環境省自然環境局
九州地区自然保護事務所

〒869-2225 熊本県阿蘇郡阿蘇町大字黒川1180
TEL：0967-34-0254 FAX：0967-34-2082
e-mail：KYUSHU@env.go.jp
<http://www.sizenken.biodic.go.jp/park/>